

高知市中心市街地活性化基本計画について



平成31年1月11日
高知市商工観光部 商工振興課

■高知市(中心市街地)の沿革

○高知市は、四国山脈を背景に太平洋に面した都市であり、約400年前、四国の覇者といわれた長宗我部元親が施政した後、山内一豊が慶長8年(1603年)大高坂山に城を築き、ここに城下町をつくったことが中心市街地の始まりとされています。

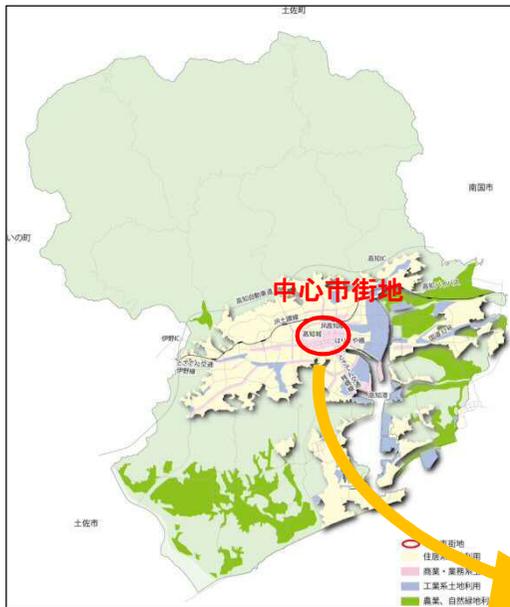
○幕末には、坂本龍馬や武市瑞山(半平太)ら勤王の志士を輩出して明治維新の礎を築きました。その後、道路や鉄道など都市基盤の整備や戦災などを経たものの、中心市街地の基本的な位置や構造に大きな変化はなく、現在の中心市街地は城下町の面影を色濃く受け継ぐものとなっています。

○人口 330,471人(H30年10月1日現在)

○面積 309.00km²



【高知市全体図】



【高知市中心市街地】



1. 高知市中心市街地活性化基本計画(第一期計画)の概要

◆平成24年11月30日，高知市中心市街地活性化基本計画の内閣総理大臣認定

●活性化における主たる課題

中心市街地での居住人口の減少

中心市街地の魅力低下に伴う来街者の減少

中心市街地での賑わい（回遊）の低下

●活性化に向けた基本コンセプト

“土佐の風土と文化”を継承・創造・発信するまち

— 南国ならではのエネルギーをもって，新たな暮らし方を切り拓く（暮らし維新をおこす）まち・高知 —

●3つの基本的な方針

《方針1》

街なか暮らしの魅力強化

（多様な人材・世代が快適に，楽しく暮らせる街なか）

《方針2》

土佐の気風や歴史・文化性の活用

（土佐の大らかさやパワー，歴史性・文化性を活かした新しい生活文化を発信する街なか）

《方針3》

街なか地域資源を楽しめる環境づくり

（街なかの魅力をも，誰もが快適に楽しく，回遊して満喫できる環境が整った街なか）

●活性化の目標

目標1

新しい街なかの暮らし方を実感できる基盤を充実させる

（街なか暮らしの，ハード等を充実させる）

評価指標1

○中心市街地の居住人口

現況値(H22):5,017人 → 目標値(H29):5,145人

<参考指標>

○中心部の空き店舗率

現況値(H23):14.4% → 目標値(H29):13.4%

目標2

街なかの回遊性を向上させる

（街なか暮らしの，仕組み等を強化する）

評価指標2

○歩行者通行量

現況値(H23):103,249人/2日・14地点 → 目標値(H29):105,916人/2日・14地点

<参考指標>

○施設の入館者数

高知観光情報発信館「とさてらす」，高知市文化プラザ「かるぽーと」の利用者数

現況値(H21):673,295人/年 → 目標値(H29):707,000人/年

2. 主な事業の取組状況

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度以降
①高知よさこい情報交流館 H25年4月開設	整備工事等					運営	
②アーケード改修等 H25～26年度		整備工事等				運営	
③永国寺キャンパスの整備 H26年度 一期工事完成		整備工事等				運営・二期工事	
④帯屋町チェントロ H27年8月オープン			整備工事等			運営	
⑤高知城歴史博物館 H29年3月開館				整備工事等			運営
⑥新図書館等複合施設 (オーテピア) H30年7月開館				整備工事等			
⑦新庁舎建設 H31年秋頃供用開始予定					整備工事等		



●**主なソフト事業**

中央公園や商店街アーケード内では、年間を通じて特色あるさまざまなイベントが開催されている。



●**事業区分別取組状況**

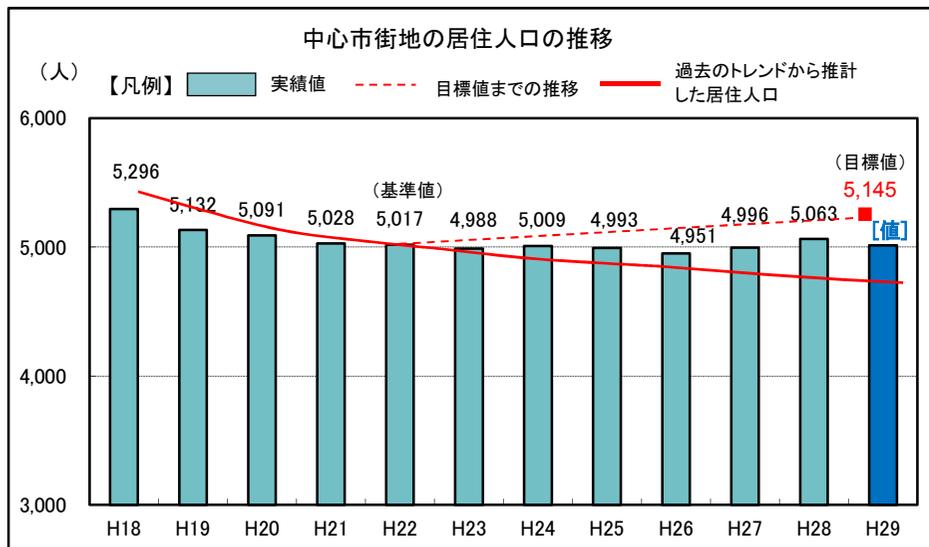
全57事業中、「事業完了」と「事業実施中」を合わせると55事業であり、進捗率は96%となっている。

分類	全体	進捗状況		
		完了	実施中	未着手
市街地の整備改善のための事業	12	4	8	0
都市福利施設を整備する事業	7	5	2	0
居住環境の向上のための事業	5	3	2	0
商業の活性化のための事業	31	4	25	2
公共交通の利便増進事業	2	0	2	0
合計	57	16	39	2

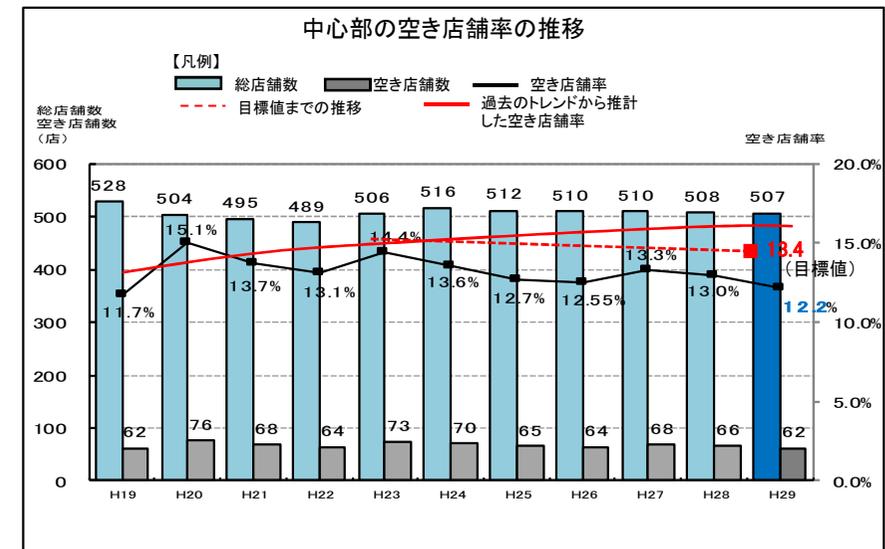
3. 目標の達成状況

目 標	目標指標	基準値	目標値	最新値
<目標1> 新しい街なかの暮らし方を実感できる基盤を充実させる	【評価指標】 中心市街地の居住人口	5,017人 (H22)	5,145人 (H29)	5,014人 (H29) 未達成
	【参考指標】 中心部の空き店舗率	14.4% (H23)	13.4% (H29)	12.2% (H29) 達成

評価指標1
中心市街地の居住人口
 基準値(H22年度末)：5,017人 ⇒ 目標値(H29年度末)：5,145人



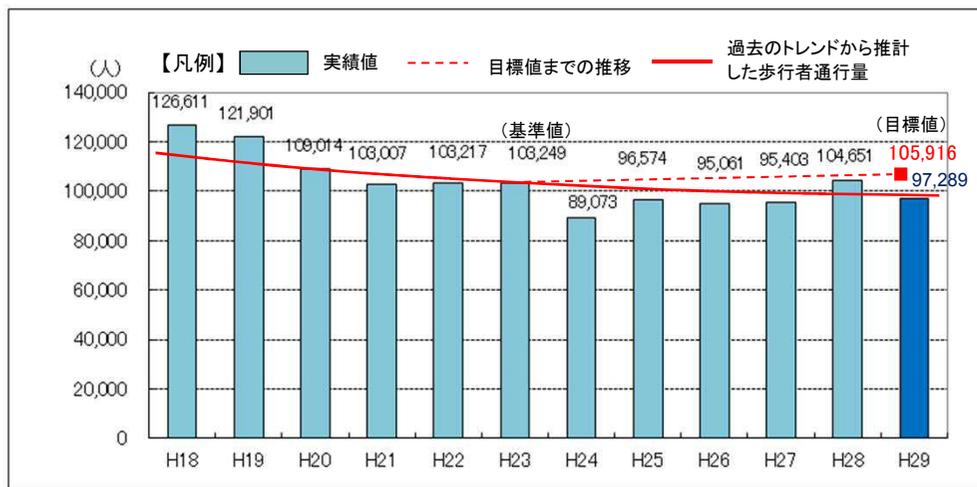
参考指標1
中心部の空き店舗率
 基準値(H23年度)：14.4% ⇒ 目標値(H29年度)：13.4%



目 標	目標指標	基準値	目標値	最新値
<目標2> 街なかの回遊性を向上させる	【評価指標】 歩行者通行量(平日・休日合計)	103,249人 (H23)	105,916人 (H29)	97,289人 (H29) 未達成
	【参考指標】 施設の入館者数	673,295人 (H21)	707,000人 (H29)	961,959人 (H29) 達成

評価指標2 **歩行者通行量(平日・休日合計14地点)**
基準値(H23年度) : 103,249人 ⇒ 目標値(H29年度末) : 105,916人

参考指標2 **施設の入館者数**
基準値(H21年度) : 673,295人 ⇒ 目標値(H29年度) : 707,000人



H21年度「とさてらす」入館者数	231,884
H21年度「かるぼーと」入館者数	441,411
基準値(H21年度合計)	673,295
目標値(H29年度合計)	707,000
H29年度「とさてらす」入館者数	505,130
H29年度「かるぼーと」入館者数	456,829
最新値(H29年度)	961,959

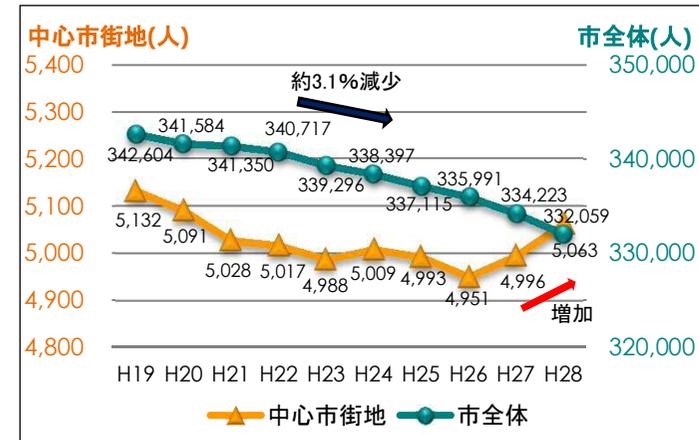
4. 高知市中心市街地活性化基本計画(第二期計画)の概要

【計画期間：H30年4月～H35年3月】

(1) 中心市街地の現状

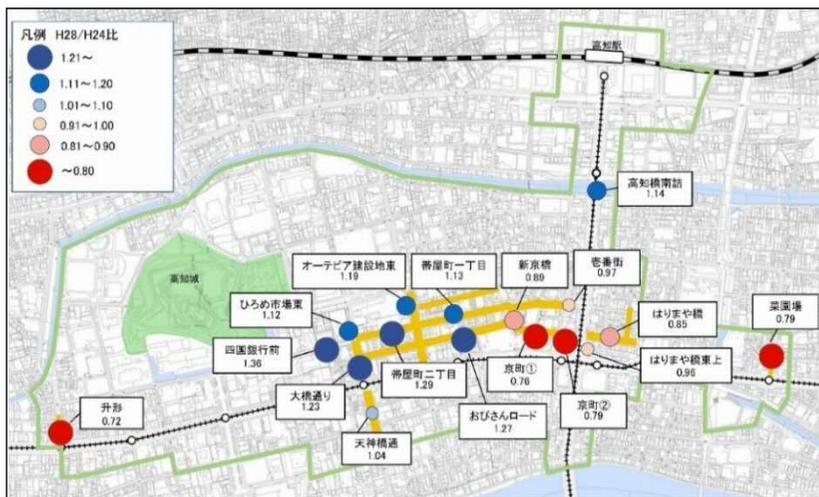
■ 人口に関する現状分析

- 高知市の人口の推移を見ると、平成19年から平成28年までに約3.1%減少しています。
- 中心市街地(本基本計画の区域)の人口は、平成26年度を底にそれまでの減少トレンドを脱し増加に転じています。
- 中心市街地の人口の市全体に占める割合は、平成19年度時点の約1.50%と比較して、平成28年度は約1.52%とやや上回っています。



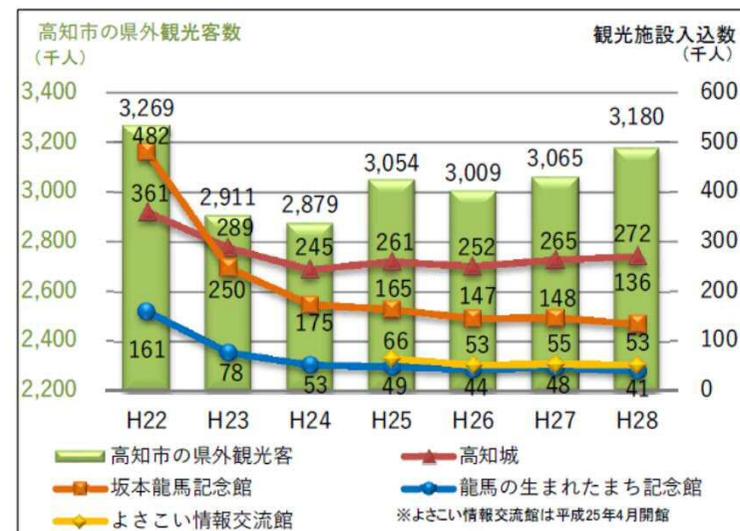
■ 歩行者通行量に関する現状分析

- 中心市街地の主要な地点(17地点)における歩行者通行量について、平成24年の前計画策定当時と平成28年の歩行者通行量の増減を比較すると、中心部では中央公園をはさんで西側エリアが増加したのに対し、東側エリアが減少しています。

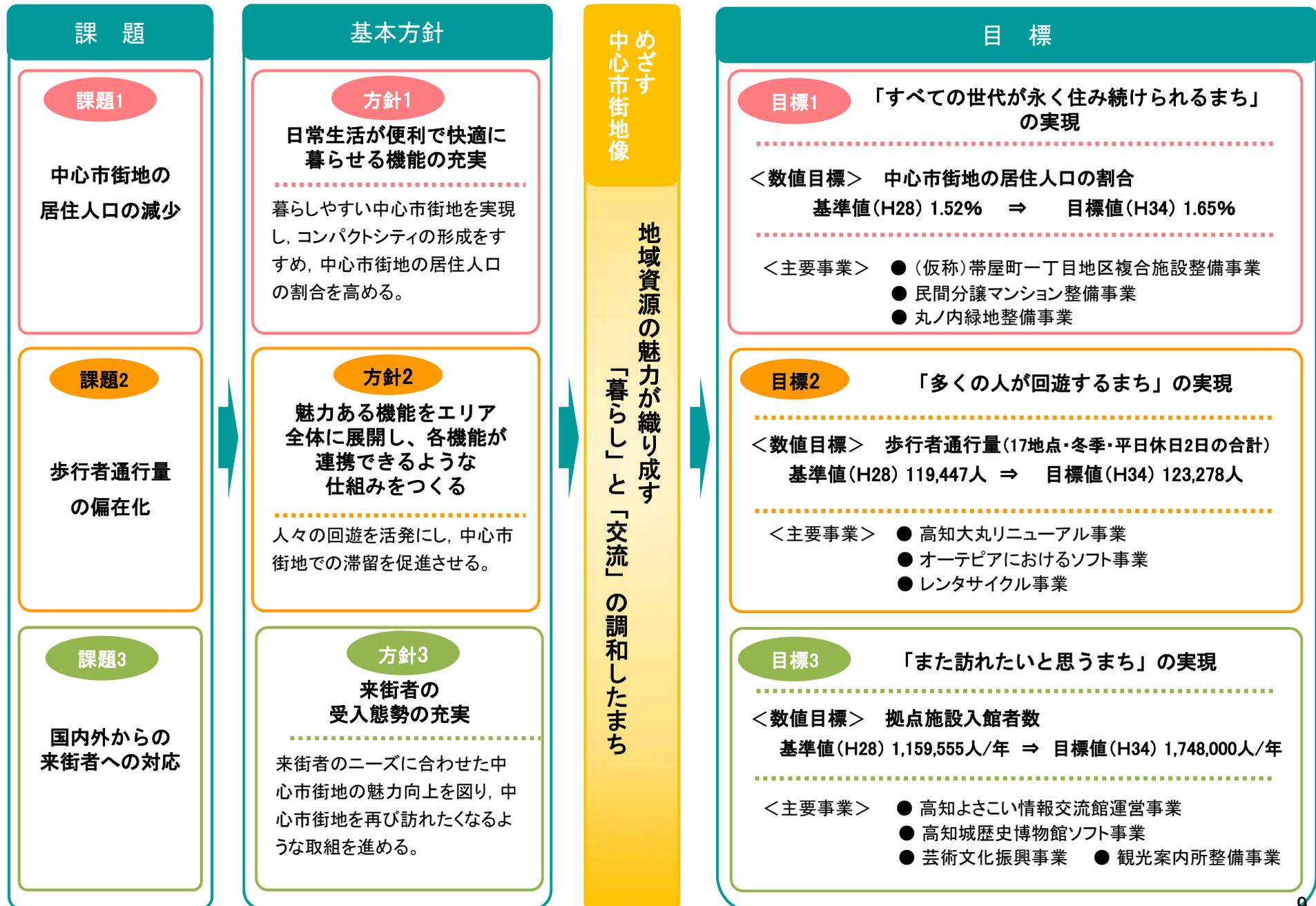


■ 観光に関する現状分析

- 高知市の県外観光客数は、NHK大河ドラマ「功名が辻」(H18年放映)、「龍馬伝」(H22年放映)の舞台となったことで、平成22年に急激に増加し次年に一旦減少した。
- その後、官民一体となった高知の食・歴史などをテーマとした取組が、県外観光客数の増加につながっており、近年は年間300万人を超えている。



(2) 中心市街地活性化の課題、活性化に向けた方針と目標



(3)計画区域



区域設定の考え方

- ①交通結節点であり、日常的に多くの市民・県民や観光客が利用する、本市の陸の玄関口「JR高知駅」を含む。
- ②賑わいの核である「中心商店街」と300年以上の歴史を誇る、日本一の街路市である「日曜日」のエリアを含む。
- ③県庁・市役所等の行政機関、高知県立大学等の教育機関、オーテピア、高知城歴史博物館、かるぼーと、県民文化ホール等、さまざまな都市機能が集積するエリアを含む。
- ④商業地域(用途地域)で容積率が600%、500%の区域

(4)主な事業

目標1 「すべての世代が長く住み続けられるまち」の実現

(仮称)帯屋町一丁目地区複合施設整備事業

日常生活が便利で快適に暮らせる商業店舗や子育て支援施設等と共同住宅の複合施設を整備することで、居住人口の確保及び回遊性の向上を図る。

・実施時期: H30~H33

・実施主体: 民間



中心市街地公園リノベーション事業(丸ノ内緑地・藤並公園・横堀公園)

中心市街地に位置する丸ノ内緑地及び藤並公園について、安心・安全のため長寿命化対策を行うとともに、高知城や高知城歴史博物館に近接した立地を活かし、観光客の憩いの場やイベントスペースとしても活用できるようにリノベーションを実施する。また、横堀公園についても、水辺環境を活かした市民の憩いの場として再整備する。

・実施時期: H30~

・実施主体: 高知市



民間分譲マンション整備事業

北本町、はりまや町、升形において3棟約135戸の民間分譲マンションを整備し、中心市街地の居住人口の増加を促す。

・実施時期: H30~H34

・実施主体: 民間

地域子育て支援拠点事業

官民連携により子育て支援拠点施設を新たに整備することで、親子のふれあいの場を提供するとともに、育児相談・育児講座等を開催し、来街のきっかけづくりや子育て家庭と地域の交流を図る。

・実施時期: H30~

・実施主体: 高知市, 民間

・支援措置: 子ども・子育て支援交付金

目標2 「多くの人が回遊するまち」の実現

高知大丸リニューアル事業

中心市街地に唯一立地する百貨店・高知大丸東館の全面改装及び地元商店街と連携したポイントカードの導入により、商業の活性化及び集客力の向上を図る。

・実施時期： H30～H31

・実施主体： (株)高知大丸



オーテピアにおけるソフト事業

オーテピア多目的広場を活用した各種イベントや、利便性の高い立地を活かして日曜市・商店街と連携した取組を行うことにより、賑わいの創出及び回遊性の向上を図る。

・実施時期： H30～H34

・実施主体： 高知県, 高知市



レンタサイクル事業(シェアサイクル事業)

中心市街地内を快適に回遊できるレンタサイクル導入の検討及び実施。便利に乗り降りできるようサイクルポートを中心市街地内随所に整備し、回遊性をさらに向上させるようなソフト事業(観光・商業情報発信、商店街や店舗との連携等)を行う。

・実施時期： H30～H34

・実施主体： 高知市



目標3 「また訪れたいと思うまち」の実現

高知城歴史博物館ソフト事業

歴史まち歩き講座や子ども向けのイベント、日曜市の食材を使った料理教室など、日曜市・商店街と連携した取組を行う。

・実施時期： H28～H34

・実施主体： 高知県



外国人観光客の受入おもてなし事業

中心市街地を訪れる外国人観光客に対し、観光案内や日本文化を体験できるミニイベント等の実施により、外国人観光客の受入態勢を充実させることで、来街の促進及び再訪を促す。

・実施時期： H27～H34

・実施主体： 高知県, 高知市, 商店街, 民間



観光案内所整備事業

外国人観光客が多く立ち寄る中心商店街内に、外国語対応可能な観光案内所を設置し、看板やパンフレットの多言語化、観光情報の提供等を行うことで、外国人観光客の誘客促進を図る。

・実施時期： H30～H34

・実施主体： 高知市

・支援措置： 連携中枢都市に対する普通交付税

商店街活性化のソフト事業①

■ こうち春花まつり(株)高知市中心街再開発協議会 ほか)

- 毎年GW期間中に開催する、都市緑化の推進と商店街活性化を図るイベント
- 色とりどりの花で中央公園を彩り、よさこい演舞披露・音楽ライブ等の企画や出店でにぎわう。



■ 土曜夜市(各商店街振興組合)

- 商店街の夏の風物詩。大橋通りから壱番街、京町・新京橋商店街まで、各商店街青年部が中心となって金魚すくい、ヨーヨー釣り、焼きそば、かき氷など、多くの出店でにぎわう。



■ よさこい祭り(よさこい振興会)

- 南国土佐の夏の祭典「よさこい祭り」。「よさこい踊り」は、高知を発祥に今や全国に広まっている。
- 毎年約200チーム、20,000人の踊り子が参加。4日間の期間中、商店街などの各競演場で華やかに演舞する。



商店街活性化のソフト事業②

■高知まちゼミ(こうちTMO)

- H25年度から開催
- お店と商店街のファンづくりを目指し、各店主らが講師となって「商品のコツ」などを教える、少人数制のミニ講座



■わくわくワークるんだ商店街(大橋通り商店街)

- H19年度から開催
- 地元企業等と連携した取組。子どもの職業体験と体験後のお買い物促進する。



■高知大道芸フェス(株)高知市中心街再開発協議会)

- H29年度から開催
- 中心商店街や中央公園など8ステージにて全国から集まった大道芸パフォーマーが魅惑の技を繰り広げる



■おびさんマルシェ(おびさんロード商店街)

- 食とアートの蚤の市。ヨーロッパ風の石畳の商店街に、オープンカフェ、雑貨、アクセサリーなどが集まるお洒落なマーケット。
- H13年から開始。不定期に年8回程度開催されている。女性を中心に、毎回多くのファンでにぎわう。



商店街活性化のソフト事業③

■100円商店街(はりまや橋商店街)

- H23年度から開催
- 商店街全体を100円ショップに見立て、各店舗の店先に100円商品をせり出し販売するイベント。毎回約9,000人の来街者でにぎわう。



■木々くらぶ(はりまや橋商店街)

- 音楽ボランティアの演奏にあわせ、合唱を楽しむイベント。
- H16年から開始。長年続いた取組に固定ファンが広がり、毎回90名ほどの参加者が集まっている。



■フラフ(㈱高知市中心街再開発協議会)

- 季節ごとのテーマにあわせて、フラフやペナントで商店街を演出
- 春「南国土佐の春」、夏「本家よさこい」、秋「土佐の偉人」、冬春「土佐の食楽食遊」



■イルミネーションフェスタ(㈱高知市中心街再開発協議会)

- おまちの冬の風物詩。商店街が実行委員会を組織して実施している。
- シンボルツリーを中心に、中央公園内を約5万5千個のイルミネーションで彩る。期間中は近隣の商店街もクリスマスツリーの設置やイルミネーションなど、関連イベントを実施。



商店街活性化のソフト事業④

■土佐のおきやく(土佐のおきやく推進会議)

- H18年から開催
- 酒、料理、音楽、アート、よさこいなどをテーマとした数多くの企画を集中的に実施し、土佐のおもてなしを広くアピールする。



■「エスコーターズ」の取組

- 高知TMO構想のなかで生まれた取組であり、H13年4月に高知女子大学(現・県立大)の学生で活動開始。全国初の取組。
- 来街者が快適に過ごせるよう、挨拶・案内・介助・清掃など「街のコンシェルジュ」活動を毎週日曜日に行っている。
- 通常活動のほか、商店街女性部と一緒に「母の日イベント」や「父の日イベント」、また、七夕とクリスマスの時期にはオリジナルイベントを企画・実施している。



<母の日イベント>



<スポーツGOMI拾い>



<高知大丸イベントスペース利用に関する協定締結>



(6)計画掲載事業一覧

市街地の整備改善のための事業（15事業）

- ・みどり豊かなまちづくり事業
- ・新庁舎建設事業
- ・無電柱化推進事業
- ・オーテピア西敷地利活用事業
- ・景観形成推進事業
- ・街なか公園リニューアル事業
- ・シンボルツリー植栽事業
- ・高知城の環境整備事業
- ・駐輪場整備事業
- ・丸ノ内緑地整備事業
- ・藤並公園整備事業
- ・横堀公園整備事業
- ・レンタサイクル事業
- ・追手筋空間の有効利用
- ・駐車場利便性向上事業

都市福利施設整備のための事業（5事業）

- ・(仮称)帯屋町一丁目地区複合施設整備事業
- ・新庁舎建設事業(再掲)
- ・地域子育て支援拠点事業
- ・永国寺キャンパス整備事業
- ・まちなか市民健康づくり事業

居住環境の向上のための事業（8事業）

- ・地域子育て支援拠点事業【再掲】
- ・(仮称)帯屋町一丁目地区複合施設整備事業【再掲】
- ・「クリアホームズ高知駅前 ザ・レジデンス」整備事業
- ・「ロイヤルガーデンはりまや町」整備事業
- ・「クリアホームズ升形 ザ・レジデンス」整備事業
- ・環境美化事業
- ・クールチョイス事業
- ・移住・定住促進事業

経済活力向上のための事業（31事業）

- ・まんがイベント事業
- ・高知よさこい情報交流館運営事業
- ・京町チャレンジショップ事業
- ・学生活動交流館事業
- ・学生と日曜市の連携事業
- ・日曜市と商店街の回遊促進事業
- ・日曜市空き小間活用事業
- ・よさこいおもてなし事業
- ・「土佐っ歩」事業
- ・商店街イベント事業
- ・「食のイベント」事業
- ・「春花まつり」事業
- ・エスコーターズ事業
- ・「高知まちゼミ」事業
- ・空き店舗対策事業
- ・外国人観光客の受入おもてなし事業
- ・観光案内所整備事業
- ・創業支援情報発信事業
- ・タウンモビリティ事業
- ・高知城歴史博物館ソフト事業
- ・商店街魅力発信事業
- ・フラフ等による商店街演出事業
- ・商店街防災対策事業
- ・(仮称)帯屋町一丁目地区複合施設整備事業【再掲】
- ・芸術文化振興事業
- ・街なか空間有効活用事業
- ・オーテピア高知図書館での情報発信事業
- ・オーテピアにおけるソフト事業
- ・高知大丸リニューアル事業
- ・学生と商店街の連携事業
- ・中心市街地インバウンド対策事業

上記事業と一体的に推進する事業（4事業）

- ・観光周遊バス運行事業
- ・公共交通利用促進事業
- ・バス路線再編事業
- ・バス停整備事業

計 59事業

※再掲は除く

事業実施者：
 県 12事業
 市 48事業
 民間 38事業
 学生 4事業